

ルネサス エレクトロニクス RX62N対応 UCT μ T-Kernel DevKit tuned for RX62N



μT-Kernelとは

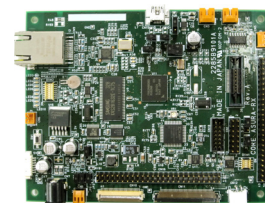
- μT-Kernelは、従来のμITRONを使っていたユーザー向けの小規模な組み込みシステム向けのリアルタイム OS
- T-Engineフォーラムが次世代RTOSとしてリファレンスソースコードを全世界に公開中
<http://www.t-engine.org/>
- 豊富なAPIとスモールフットプリントを絶妙なバランスで実現
 - ・内蔵のROM/RAMが8KB未達のワンチップマイコンでも、RTOSを使ったシステム開発が可能
 - ・基本的なRTOS機能だけでなく、ミューテックスなどの高機能な同期・通信機能もサポート
 - ・T-Kernelシリーズで互換のアプリケーションを開発可能
 - μT-Kernelでも約150のT-Kernel APIをサポート

UCT μT-Kernel DevKit tuned for RX62N

- UCT μT-Kernel DevKitは、ルネサス エレクトロニクス社の最新のMCUマイコンRX62Nに最適化したμT-Kernel
 - ・RX62Nに最適化したμT-Kernelのソースコード、TCP/IPのサンプルプログラムなどをご提供
 - ・統合開発環境用のプロジェクトファイルが付属しますので、煩わしい設定作業が不要
 - UCT μT-Kernel DevKitは、T-Engineフォーラムが公開する最新のμT-Kernelに最速でキャッチアップ
 - UCT μT-Kernel DevKitは、ロイヤリティ不要で量産可能なプロジェクトライセンスをご提供
 - ・RAM/ROMが各8KB以下でのMCUでもリアルタイムOSが利用可能
 - ・TCP/IPのサンプルは、LANドライバ、簡易HTTPサーバ、DHCPクライアントを含む
- 製品名：UCT μT-Kernel DevKit tuned for RX62N
 - ・対応マイコン：ルネサス エレクトロニクス RX62N
 - ・価格：¥198,000 / ライセンス (消費税別)
* 技術サポート3ヶ月含む。6ヶ月毎の延長可能。ライセンス条件などの詳細は、HPを参照ください。
- 開発プラットフォーム
 - ・ハードウェア：株式会社コア製 竹ASURA
 - ・開発環境：ルネサス エレクトロニクス社製 High-performance Embedded Workshop (HEW)
ルネサス エレクトロニクス社製 E1 エミュレータ
- UCT μT-Kernel 上の各種ドライバ/ミドルウェアは各パートナーから提供



UCT μT-Kernel DevKit
tuned for RX62N



株式会社コア製
竹 ASURA

～ユーシーテクノロジーは、各種プラットフォームへの移植やアプリケーションソフトやデバイスドライバの開発も承ります～

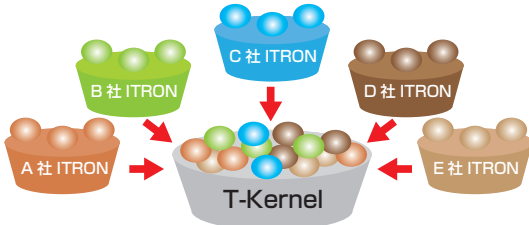
ユーシーテクノロジー株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田 2-20-1 第28 興和ビル

URL : <http://www.uctec.com/index.html> 電話 : 03-5437-2323 / FAX : 03-5437-2297 / E-mail : sales@uctec.com

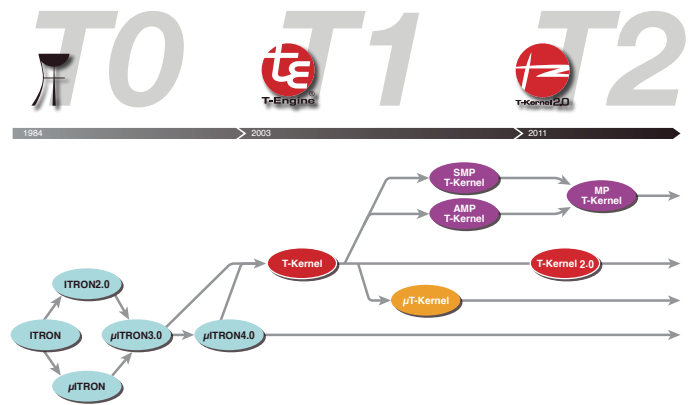
T-Kernelとは

- ITRON の機能を継承。大規模システムに対応した RTOS
- 従来バラバラに作られていた ITRON 仕様 OS やミドルウェアを高度に統合
- シングルワンソース
T-Engine フォーラム HP から無償でダウンロード
- 様々な用途に合わせてスケラブルに展開

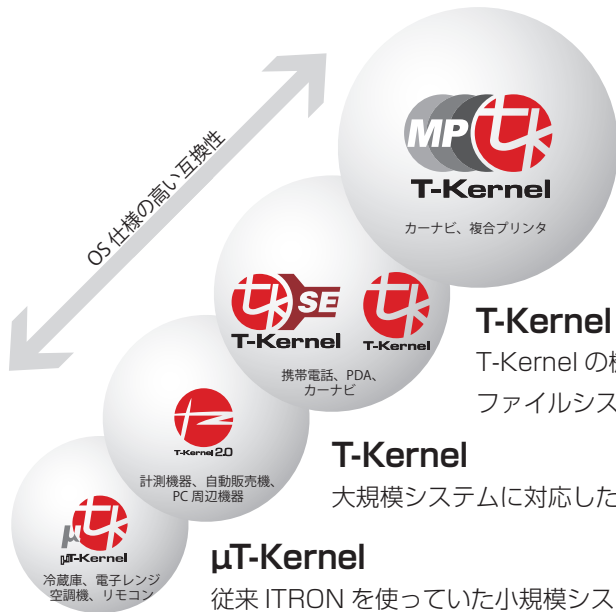


最も豊富なソフトウェアを持つオープンリアルタイムプラットフォームへ

μITRON・μT-Kernel ロードマップ



2010年に旧社団法人トロン協会をT-Engineフォーラムに統合しロードマップを一体化



MP T-Kernel

マルチプロセッサ・コア向け RTOS
AMP (非対称)、SMP (対称) に対応
カーナビやプリンターなどで量産実績

T-Kernel Standard Extension

T-Kernel の機能を拡張する機能
ファイルシステムやプロセスモデルプログラミングに対応

T-Kernel

大規模システムに対応した基本 RTOS

μT-Kernel

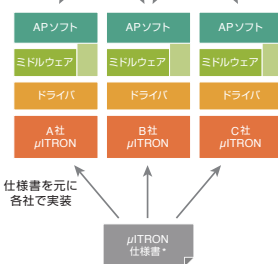
従来 ITRON を使っていた小規模システム向けカーネル

ITRON から μT-Kernel への移行のメリット

- T-Kernel のスケラビリティを確保
マルチプロセッサを含む大規模システムへの移行が容易
- デバイスドライバ仕様書やテストスイートなど公開された仕様やソフトウェアを活用可能
- 省電力への対応が容易
- 新しい機器への拡張性が高い
スマートグリッドAPIの標準仕様など

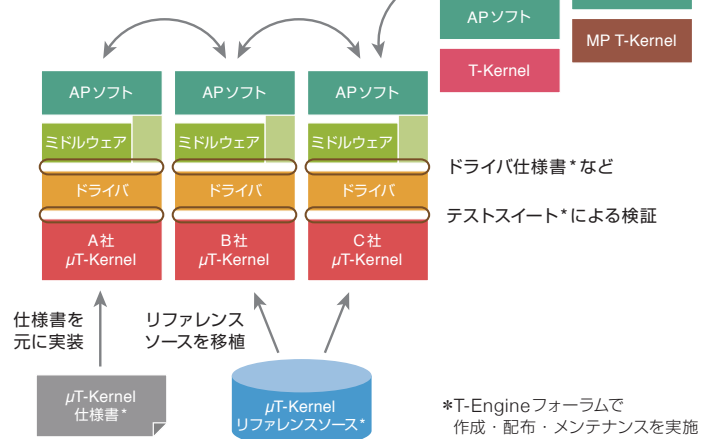
●μITRON

プログラムの移行が困難



●μT-Kernel

プログラムの移行が容易



*T-Engine フォーラムで作成・配布・メンテナンスを実施